

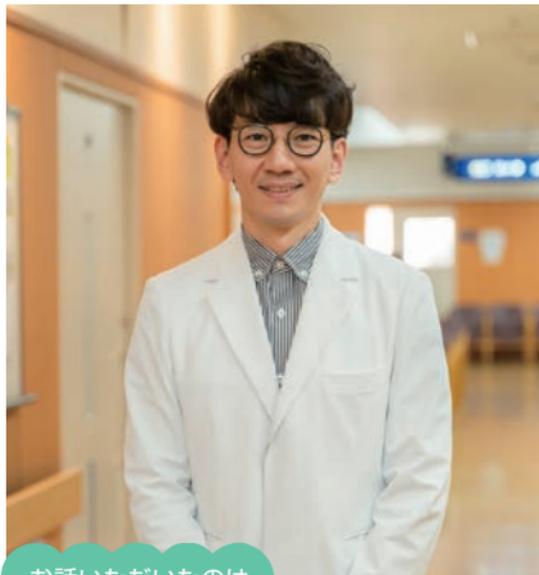
肩腱板断裂とはどのような疾患 ですか？どんな症状が出ますか？

肩腱板断裂(かたけんばんだんれつ)

50歳を過ぎて気をつけておかないといけないのが肩腱板断裂(かたけんばんだんれつ)です。肩腱板断裂とは、上腕の骨と肩甲骨をつなぐ筋肉の腱が切れたり、はがれたりしてしまう疾患です。「夜間痛」、「肩を動かしたときの痛み」、「肩に力が入りにくい」などの症状が現れます。四十肩・五十肩と症状が似ているので注意が必要です。リハビリで症状が改善することも多いですが、場合によっては手術を選択することがあります。当院では、肩関節の内視鏡を用いての肩腱板断裂手術を多く手掛けています。

治療のアドバイス

腱板断裂の痛みを和らげるための運動は、当院の理学療法士によるリハビリとセルフトレーニングの指導の両方で進めます。回復には半年程度かかることもあります。肩の痛みが2週間ほど続く場合は、できるだけ早く専門医を受診しましょう。



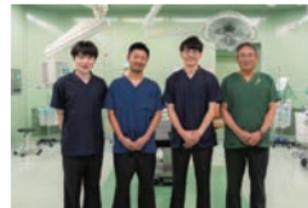
お話をいただいたのは

社会福祉法人 香川済生会支部
香川県済生会病院

よしたけ しんご
整形外科部長 吉武新悟先生

Profile 2009年香川医科大(現香川大学医学部)卒業。坂出市立病院、香川大学医学部附属病院などを経て、2023年3月から現職。

【資格】・医学博士・日本整形外科学会認定整形外科専門医・指導医・日本骨粗鬆症学会認定骨粗鬆症認定医・日本整形外科学会認定スポーツ医



骨や関節、筋肉など運動器の問題でお悩みの子どもから高齢者までしっかりと対応することを目指しています。